

農林中央金庫の目指す姿

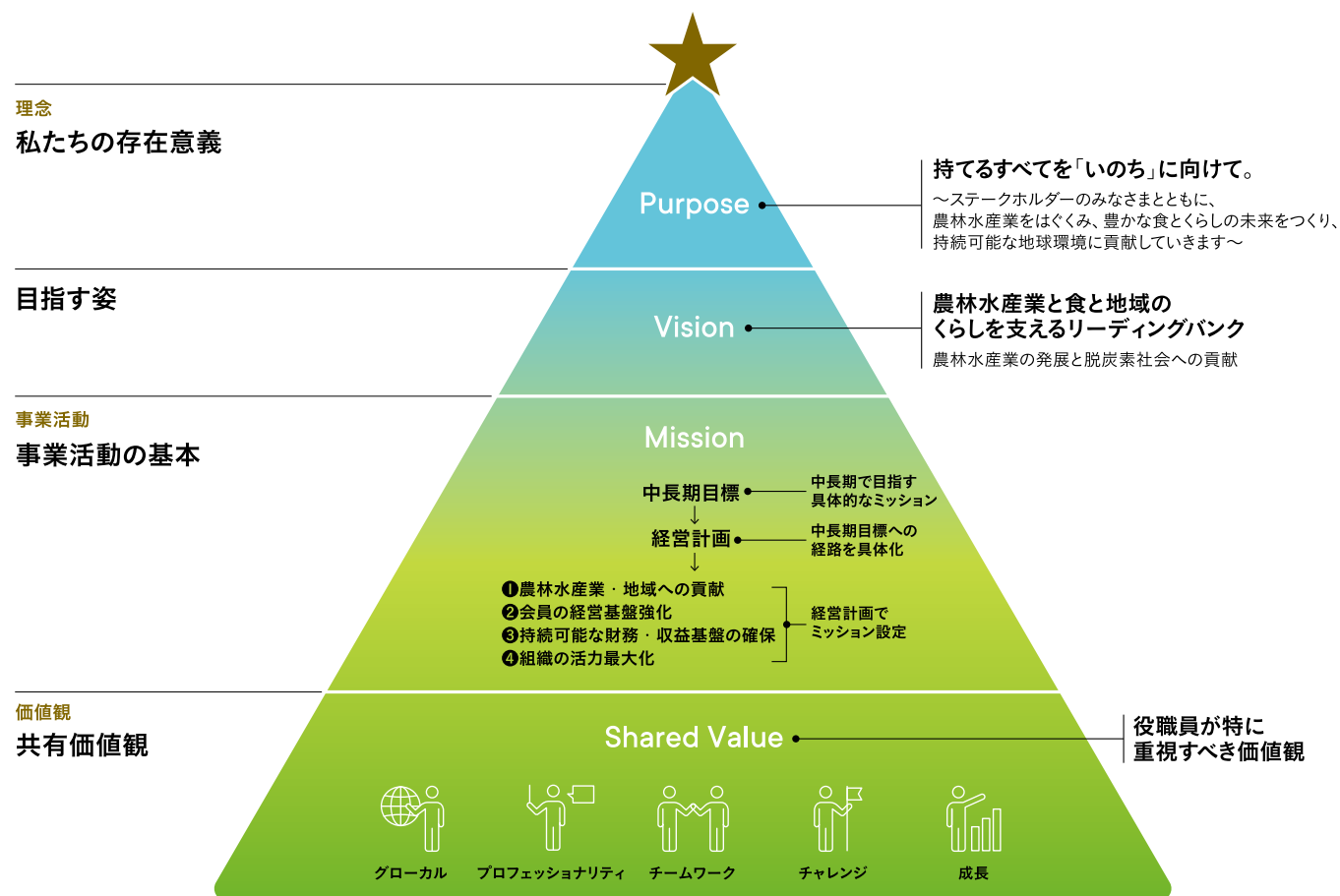
農林中央金庫は、持続可能な環境や社会のために未来に向けてどのような貢献をしていくのかという「存在意義」、その発揮に向けて当金庫はどうあるべきかという「目指す姿」を整理しました。

そして、「目指す姿」を実現するための経営計画として、「中長期目標」、「単年度目標」を定めました。

また、経営計画の達成に日々取り組んでいくための土台を成すものとして、役職員の「共有価値観」を整理しました。

「共有価値観」を踏まえながら日々の事業活動を通じて「経営計画」の目標を達成し、その行き着く先として「中長期目標」の達成を目指していく。

その姿が「目指す姿」を体現するための進路であり、社会に示す当金庫の「存在意義」につながっていくということを、役職員一同共有し、取り組んでいきます。



ステークホルダー：

JA・JF・JForestなどの会員/会員の組合員（農林水産業に従事するみなさま）、農林水産関連企業をはじめとする預貯金や貸出のお取引先/
地域社会のみならず/金融機関や市場参加者、業務委託先など業務全般にわたるビジネスパートナー/行政/職員